

2015年度介護保険制度改正が 高齢者住宅事業に与えるインパクト

医療・介護・高齢者住宅のトッププレイヤーが語る
これからのビジネスモデルとは!?

論点

その1

激変する環境下での次なる備えの一手!
——制度改正への対応策と今後のビジョン

その2

「地域包括ケア」を具現化する高齢者向け住宅・医療・介護連携
——2025年に向けた医療・介護連携の望ましい姿とは

開催日 2014年**10月9日**(木)9:30~17:00

会場 **都市センターホテル**(東京・永田町)
東京都千代田区平河町2-4-1
TEL.03-3265-8211

主催 **総合ユニコム株式会社**
第10回シニアビジネスマーケット
東京都中央区京橋2-10-2 め利彦ビル南館
TEL.03-3563-0025(代表)
FAX.03-3564-2560

協賛

カナダ林産業審議会 SPFグループ/技研商事インターナショナル(株)/
(株)ほっとステーション/三井ホーム(株)/三菱電機(株) (五十音順・8月末現在)

<http://www.sogo-unicom.co.jp>

■ごあんない

2015年に迫る次期介護保険制度改正の全容が明らかになりつつあります。今回の改正では「給付の重点化・効率化」を基本軸としながら、地域包括ケアシステムの構築がより一層進められる方向にあります。介護の方向が「在宅シフト」へと舵を切っていることは変わりなく、高齢者住宅の役割はますます大きくなります。一方、今年4月の診療報酬改定は、集合住宅への訪問診療の減算など、これを手掛ける医療法人や高齢者施設・住宅事業者等に衝撃を与えました。こうしたなか、今後、高齢者施設・住宅に携わる事業者は、医療・介護連携による「終の棲家」づくりのために備えるべきでしょうか？

本シンポジウムでは、診療報酬改定・介護保険制度改正がもたらす「住宅事業×在宅介護へのインパクト」をテーマに、地域包括ケア実現に向けた「医療・介護連携のあり方」に焦点を当てたものとして開催いたします。

■シンポジウムプログラム

■政策講演 9:30~10:20

2025年に向けた 高齢者の住まいの将来像



山口 義敬 厚生労働省 老健局 高齢者支援課+振興課 課長補佐 高齢者居住福祉担当

やまぐち よしゆき ●2006年東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 修士課程を修了後、国土交通省入省。建築基準法や公営住宅法の担当官として、構造計算書偽装問題や東日本大震災後の住宅復興など、建築・住宅行政に取り組む。12年4月からは、厚生労働省においてサービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームを担当。

■基調講演① 10:30~11:20

地域包括ケアシステムの構築と 高齢者住宅・介護事業者のビジネスチャンス



大石 佳能子 ㈱メディヴァ 代表取締役

おおいしのかのこ ●大阪府出身。大阪大学法学部卒業後、1986年ハーバードビジネス・スクールに入学しMBAを取得。マッキンゼー・アンド・カンパニー(日本、米国)のパートナーを経て、2000年㈱メディヴァを設立。厚生労働省「これからの医療経営の在り方に関する検討会」、「社会保険審議会福祉部会」、経済産業省「日本版PHRを活用した新たな健康サービス研究会」の各委員等を歴任。04年医療法人社団プラタナス総事務局長就任。日経WOMAN「日経ウーマンオブ・ザ・イヤー2007」受賞。「消費者最優先企業の時代」(共著)、「診療所経営の教科書」(監修)等がある。

■基調講演② 11:30~12:00

高齢者向け住宅の現況と 介護保険制度改正が与える影響



吉村 直子 ㈱長谷工総合研究所 上席主任研究員

よしむらなのおこ ●奈良女子大学大学院家政学専攻(住環境学専攻)修了。1992年㈱長谷工コーポレーション入社。94年㈱長谷工総合研究所に出向、2012年より現職。大学時代より高齢者の居住環境に関する研究に取り組む。有料老人ホーム入居者の生活実態に注目し、ハードソフトに対する満足度が生活環境や事業主体に対する評価にどうつながっているかなどについて全国各地のホームで調査を実施。現在は、高齢者住宅事業に関わる制度・政策や市場環境の評価・分析、事業計画立案のための調査・研究、コンサルティングに携わる。

◆ランチョンセミナー 12:10~12:30

12:00~12:50 【昼食・休憩】

有利性に富んだ耐火木造建築 事例紹介

吉高 久人 ㈱吉高総合設計コンサルタント 代表取締役

■パネルディスカッション① 12:50~14:50

高齢者住宅市場、 激変下における 次の一手

——制度改正、入居者ニーズに応える
今後のビジョン

- 高齢者住宅の供給状況
現状分析と今後の方向性・課題
- 医療・介護保険制度改正がもたらす影響
——訪問診療減算、住所地特例、同一建物減算など
- 高齢者向け住宅は玉石混交
——選ばれる住宅づくりと勝ち残りの条件

コーディネーター

吉村 直子 ㈱長谷工総合研究所 上席主任研究員

パネリスト



向井 幸一 ㈱シルバーライフネットワーク 代表取締役

むかいこういち ●1952年広島県生まれ。芝浦工業大学卒業後、警視庁入庁。1992年同庁退任後、㈱不動産中央情報センター入社。㈱三ム取締役、日本エコネット㈱代表取締役を経て、2004年㈱シルバーライフネットワーク代表取締役に就任。サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホームの管理運営に携わるほか、高齢者住宅コンサルティングを主な業務としている。公益財団法人 日本賃貸住宅管理協会 高齢者住宅研究会副会長、住替え支援センター 住替えアドバイザー、一般財団法人 サービス付き高齢者向け住宅協会 副会長ほか、高齢者住宅供給企業、医療・社会福祉法人の顧問も数社兼任。

福元 均 ㈱木下の介護 取締役業務

ふくもとひとし ●成城大学経済学部卒業。事務機器メーカー、外食産業、都市再開発事業を経験した後、医療法人、社会福祉法人に勤務。その後、コンサルタントとして複数の法人・企業で新規の特養・老健施設、有料老人ホーム、グループホーム、デイサービスなどの開発ならびに運営に携わる。現在、木下グループの㈱木下の介護にて現職を務める。東京都福祉サービス第三者評価機関評価者。



三重野 真

㈱荒井商店 シニアライフ&メディアケア事業部 取締役事業部長

みえのまこと ●玉川大学文学部卒業後、セコム㈱に入社。セコムアクア㈱、セコム損害保険㈱での勤務を経て、2003年にベジフルーツ㈱にて代表取締役を務める。05年4月㈱荒井商店に入社し、同年6月に同社取締役に就任。また、同時に㈱セントラルメディカルサービス(現㈱アライメディア)の取締役にも就任。06年2月同社の専務取締役に就任し、現在に至る。

コーディネーター

吉村 直子 ㈱長谷工総合研究所 上席主任研究員

■パネルディスカッション② 15:00~17:00

医療・介護連携の核として 高齢者住宅での 多職種連携の進め方

——先行オペレーターによる実践報告

- 地域包括ケア実現に向けて
高齢者住宅が果たすべき役割とは？
- 地域における多職種・多法人連携の進め方
——取組みのメリットと留意点
- 訪問診療・訪問看護・高齢者住宅事業者による
具体的な連携モデルの実践報告

パネリスト



佐々木 淳 医療法人社団 悠翔会 理事長・診療部長

ささきじゅん ●1973年京都市生まれ。筑波大学卒業後、98年、三井記念病院内科研修医として勤務。03年東京大学大学院医学系研究科博士課程に入学、東京大学医学部附属病院消化器内科を経て、06年MRCビルクリニック(現医療法人社団悠翔会)を設立。08年医療法人社団悠翔会の理事長に就任。現在、首都圏に在宅療養支援診療所を9カ所展開。常勤医師22人、非常勤医師35人を擁する診療チームで2,000人の在宅患者を24時間サポートしている。

小室 貴之

在宅療養支援 風の風グループ 代表
首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 兼任講師
一般社団法人町田市介護サービスネットワーク 理事

こむろたかゆき ●1971年生まれ。立教大学大学院卒。民間企業、病院勤務、医療法人経営を経て、2001年風の風を設立。同代表理事に就任。現在在宅療養支援 風の風グループ(NPO法人風の風、医療法人社団風の風、株式会社風の風、有限会社マザーリーフ)CEO兼コンサルタント。リハビリ型デイの先駆モデル「デイサービス高ヶ坂」を03年に開設。以後、直営施設、FC施設、コンサルティング顧問先等々にて稼働率向上等数多く取り組み、その全てを成功へと導く。通所関連専門誌に連載多数。通所運営の各種セミナー講師も務める。社会福祉士、経営学修士(MBA)。



コーディネーター

小早川 仁 ㈱学研ココファンホールディングス 代表取締役社長

こばやかわひとし ●1990年学研学習研究社入社。2002年社内ベンチャーで高齢者向け事業を企画し、04年学研ココファンを設立。08年学研ココファンホールディングスへの持ち株会社移行に伴い代表取締役に就任。一般財団法人サービス付き高齢者向け住宅協会理事も務める。主な著書に「学研ココファンが明かす「高専賃」事業化ノウハウのすべて」(総合エニコム刊)などがある。



下河原 忠道 ㈱シルバーウッド 代表取締役社長

しもがわらただみち ●1971年東京都生まれ。92年より父親が経営する鉄鋼会社に勤務。薄鋼板による建築工法開発のため、98年に単身渡米。「スチールフレミング工法」をロサンゼルスOrange Coast Collegeで学び、帰国後2000年に㈱シルバーウッドを設立。7年の歳月をかけ、「スチールパネル工法」を開発し特許を取得。国土交通省より大臣認定を受け、耐震性に優れた住宅・店舗等の設計・施工を行なう。05年に初めて高齢者向け住宅工事を受注後、11年7月にサ高住「銀木屋<鎌ヶ谷>」を開設。介護予防を中心に看取り援助まで行う終の住処づくりを目指し「生活の場」としてのサ高住開発を追求する。一般財団法人サービス付き高齢者向け住宅協会理事。

※主催者及び講師等の諸般の事情により、講師の変更や講座を中止させていただく場合がございます。その際には、シンポジウムお申込み時にご記入いただいた連絡先へ、事務局からご連絡させていただきます。

開催概要

開催日：2014年10月9日(木) 9:30～17:00

会場：都市センターホテル(東京・永田町)
東京都千代田区平河町2-4-1 TEL.03-3265-8211

参加費：一般：27,000円(1名様につき)
(テキスト代、昼食代、消費税及び地方消費税含む)

定期購読者割引価格：19,440円(1名様につき)
(テキスト代、昼食代、消費税及び地方消費税含む)
※「月刊シニアビジネスマーケット」を年間定期購読契約されている方、
ならびに新規定期購読ご契約の方を対象とさせていただきます。

会場案内



■電車

- ・東京メトロ 有楽町線、「麹町駅」半蔵門方面1番出口より徒歩4分
- ・東京メトロ 有楽町線・半蔵門線・南北線、「永田町駅」
4番・5番出口より徒歩4分、9b番出口より徒歩3分
- ※「永田町駅」からのアクセスは、5番出口方面の先にある9b番出口が
便利です。ホテル前のプリンス通りに出られます。
- ・東京メトロ 丸の内線・銀座線、「赤坂見附駅」D出口より徒歩8分
- ・JR中央線、「四ツ谷駅」麹町出口より徒歩14分

■お申込みFAX番号

フリーダイヤルFAX番号
FreeDial 0120-05-2560

(上記のFAXが通じない場合は、FAX03-3564-2560におかけ直してください。)

■お問合せ先

総合ユニコム株式会社
「月刊シニアビジネスマーケット特別シンポジウム2014」事務局
〒103-0031 東京都中央区京橋2-10-2 ぬ利彦ビル南館
TEL 03 (3563) 0099
http://www.sogo-unicom.co.jp/
※ホームページでは、総合ユニコムの出版物・セミナーのご案内をしています。

お願い：ダイレクトメールの送付先変更または中止をご希望の方は、お手数ですが
封筒ラベルに要件をご記入の上、総合ユニコム(株)企画事業部までFAXにてご連絡ください。

■お申込み方法

- 参加申込みは下記の「参加申込書」の到着をもって正式受付とさせていただきます。FAXか郵送でお送りください。また、弊社ホームページからお申込みができます。http://www.sogo-unicom.co.jp/
- 「参加申込書」が到着次第、参加者宛に「シンポジウム参加証」「請求書」「銀行振込用紙」をお送りいたします。「シンポジウム参加証」は開催当日に忘れずにお持ちください、受付にご提示をお願いいたします。
- 参加費は、10月6日(月)までに下記指定銀行の口座にお振込み願います。
みずほ銀行 銀座支店 普通預金：2360120
口座名：総合ユニコム株式会社 ※振込手数料は貴社にてご負担願います。
- 10月6日(月)までにお振込みが間に合わない場合は、恐縮ですが事務局(TEL.03-3563-0099)までお振込予定日をご連絡ください。
- お申込みが開催日直前の場合、もしくは「参加証」「請求書」等の到着が開催日直前の場合は、シンポジウム総合受付にて現金でのお支払いとなります。当日現金でのお支払いが難しい場合は、お振込予定日を事務局までお知らせください。
- 申し込まれた方が参加できない場合は、代理の方にご出席いただいて結構です。ただし、キャンセルの場合は、10月6日(月)までに必ず事務局にFAXにてご連絡ください。ご入金額より返金手数料2,000円(1件当たり)を申し受けます。なお、10月7日(火)以降のキャンセルにつきましては、参加費全額をキャンセル料として申し受けます(その場合、原則としてシンポジウムの当日配布資料をご送付いたします)。
- シンポジウム会場内は禁煙とさせていただきます。また、講演内容の録音・録画、講演中のパソコン・携帯電話のご使用は、固くお断りいたします。
- ご記入いただきました個人情報は、当社商品案内ならびにシンポジウムの適切な運営、参加者間の交流促進のために利用させていただきます。

■月刊シニアビジネスマーケット特別シンポジウム2014 参加申込書

この機会に「月刊シニアビジネスマーケット」の年間定期購読(最新号から1年間)をご希望される方は、下記の新規定期購読希望欄に✓印を入れてください。シンポジウム参加費を「定期購読者割引価格」とさせていただきます。

特別協賛企業の詳しい資料および説明等をご希望の方は✓印を入れてください。
開催後、協賛企業からのご案内を希望する

会社名		責社業種
フリガナ		
住所 〒		TEL
		FAX
<input type="checkbox"/> 「月刊シニアビジネスマーケット」を年間定期購読契約されている方		<input type="checkbox"/> 「月刊シニアビジネスマーケット」新規定期購読希望の方
ご出席者名	所属部署・役職	E-mailアドレス
フリガナ		
フリガナ		
フリガナ		

●参加費振込予定日(月 日) ご担当者名()